

釧路南ロータリークラブ会報

第23回 例会報告 2021.1.22 通算1831回

・点 鐘

奈良会長

・会長挨拶

・ロータリーソング

「我等の生業」



ソングリーダー 亀井 麻也会員



みなさんこんにちは。

本年度24回目の会長挨拶をさせていただきます。

最初にコロナ感染対策として本日も食事をお弁当に変更させていただき例会時間も短縮させていただきますのでメンバーの皆様にはご理解とご協力をお願い致します。

本日のプログラムは「会員卓話（年男大いに語る）」となっております。後ほど3名の方からお話をいただく予定になっておりますので宜しくお願い致します。

今日は皆様にお知らせ（告知）をさせていただきたいと思います。私の所属している他団体発信なのですが2月6日から14日までくしろウインターパークと題しましてイベントを開催致します。

東北北海道スポーツコミッション様と協力し交流センター前庭から釧路川横耐震岸壁にかけましてスケートリンクを作成し子供たちに楽しんでもらおうという企画です。

・誕生祝

高橋 康成会員 S19.1.22 (77歳)



現在は私もほぼ毎日リンク作成に参加している状況で数日のしばれでやっとリンクらしくなってきました。

現在の状況下でのイベントですので賛否あるとは思いますが感染対策をしっかりと行い市民皆さんに喜んで頂けるように頑張りたいと思っております。以上会長挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

・幹事報告



- * ハイライトよねやま1月号が届いております。
- * 釧路市より各イベントの案内が届いておりますのでご一読ください。

本日、例会後に理事会がございますのでよろしくお願ひ致します。

各資料は回覧してしますのでご一読お願ひします。

・本日のプログラム

「 会員卓話(年男大いに語る) 」

担当 会員選考維持委員会

◆安藤整治会員



今年で6回目の年男 昭和24年生まれ。団塊の世代、あの時代1クラス50人以上、中学校では14クラスありましたね。でもあっという間に72才ですよ。年男大いに語れと言っても介護保険の被保険者であるものに未来を語らせるよりはもっと若い人に語って貰いたいものですね。年を取ると昔のことばかりの愚痴が多くなりますからね。ただ72年間の時間の経過とともに街の様子がこんなに変わるものとは。びっくりです。昭和50年に釧路に帰って来たときには街はどんどん大きくなり未来のある明るい街になると確信していました。水産日本一であり・エネルギー資源の炭鉱があり・そして2代大手の製紙工場が稼働していた。

何処から見ても釧路は羨ましいほどの町であったことは間違いない。しかし現在の釧路に基幹産業であった三大産業が衰退しこのような町の姿になるとは思ひもよらないですね。若い人の将来が按じましたね。でもこの困難な時代、当クラブのメンバーを見ていると世代交代が進み若々しいメンバーの

入会によって会が運営され、自ら起業して事業を起こし頑張る若いメンバーが入会し活躍している。当クラブの未来をまた釧路の未来を託せますね。大変な時代だからこそ変化を恐れず果敢に挑戦してもらいたいと思います。年寄りからのお願いです。

◆福井克美会員



私は、1949年7月25日美幌町生まれで72歳になります。前回12年前の年男では長倉さん、原田さんと私の3名でした。原田さんは退会してしまいました。私が私と同じ年齢です。

ロータリーには、1991年42歳の時に入会して入会歴は30年目になります。スポンサーは、退会した船戸さんで当時は会長でした。入会した年は南クラブの10周年記念の年で来賓に稚内南RCからも来られたことを思い出します。

ロータリーの役員には、1998年に会長(49歳)、2004年にガバナー補佐(55歳)、地区役員としてG・S・E(研究グループ交換)委員長、V・T・T(職業研修)委員長を経験しました。委員と委員長を合わせると10年以上職業研修に関わっていました。これだけ長く職業研修に関わった方はいないと思います。貴重な経験をさせて頂きました。私の後のV

T T委員長が、旭川西RCの久木佐知子さんで、現在ガバナーノミニーです。ガバナーエレクトは、釧路ベイRCの漆崎さんです。漆崎さんとは、中小企業家同友会で30年の付き合いで、現在は政策委員会と一緒に所属しています。久木さんと漆崎さんの二人は温厚で素晴らしい方なので次年度を楽しみにしています。

今年は新型コロナウイルス感染症の蔓延で、まだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれません。

ワクチンが来月から日本でも始まります。厚生労働省は、米ファイザー社とワクチンの供給契約を結び、今年中に7200万人分の供給を受けます。6月末までに、米モデルナ社、英アストラゼネカ、米ファイザー社の3社で1億5700万人分のワクチンを確保しました。2月末から医療従事者から接種が始まり3月末に基礎疾患のある方と高齢者、4月に一般の方の順で始まります。基礎疾患は、糖尿病、心不全、呼吸器疾患、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方を言います。ワクチン接種の担当閣僚を新設し、河野太郎行政改革相が任命され縦割り行政を連携する準備が始まりました。米ファイザー製のワクチンはマイナス75度に保つ必要があり、取り扱いには注意が必要です。政府は、各都道府県に冷凍庫を配布することになっています。パナソニックでは、ドライアイスを入れてマイナス70度で18日間維持できる保冷ボックスを開発しました。4月から販売されます。

後は、ワクチンを接種する広い場所と看護師の確保があります。早く終息することを期待したいと思います。これまで私たちは、昨年1年間耐えてきたので、焦らずコロナと戦いながら地道に突き進む年にして行きたいと思います。

次年度は、当クラブから長倉ガバナー補佐を輩出するのと、南クラブ40周年記念を迎える特別な年度になります。皆さんと力を合わせて頑張っ参りますので、これからも宜しくお願いします。

◆長倉巨樹彦会員



今年で60歳、還暦を迎えます。

60年前の出来事を調べたら、殆ど知らない出来事ばかりでした。

唯一、「ベルリンの壁」というのがあって、よく見るとベルリンの壁建設でした。崩壊ではなく、建設です。自分も随分昔に生まれたのだと感じます。

家も自動車も60年前の物だと、殆どぼろぼろになっているのに、自分の心臓も肺も60年間、一度も止まる事もなく動いているのを思うと、両親に感謝すると共に人間の体の凄さを感じます。

さて、私は、小さいころは、父親が太平洋炭鉱で努めていたので、今のコーチャンフォーの近くのブロック造りの2階建てのアパートがあってそこに住んでいました。トイレは付いていましたが、お風呂はなく、歩いて20分ほどの所に太平洋炭鉱の銭湯があり、友達と通っていました。冬は、よくテレビでやっているタオルを回すと凍って固くなっていまし

た。父親は釧路湿原の大観峰の遠矢側の麓で農家の出身でした。今も、先祖の土地が5万坪だったか、50万坪だったか山や原野農地等広大な土地を持っているところです。母親は、浜中の新川出身で、澤山さんの実家のすぐ近くのようなのです。

小学校は、スポーツに明け暮れておりました。

朝、サッカーの朝練、授業が終われば相撲を30分ほどやって、その後グラウンドで暗くなるまでサッカー、その後は、体育館に戻りバレーボール。くたくたの毎日を送っておりました。

サッカーは、市内の大会で小学、中学で優勝し全道大会にフォワードで出場しております。

こう見えても、点取屋だったのです。

高校では、スポーツはやりませんでした。サッカー部、ハンドボール部、バレーボールから誘いがありましたが、全部断りました。今考えると、運動神経だけはよかった少年時代でした。

現在は、ゴルフですが、今年60歳という事でドライバーの飛距離が落ち始める年齢とききますが、300ヤード目指して。ロータリーでもガバナー補佐の役目がありますので、スポーツにロータリーにと、皆さまのご協力も得ながら頑張っていきたいと考えております。



・次回のプログラム

1月29日(金)

「職業奉仕月間に因んで」

会場 ANAクラウンプラザホテル釧路 12:30～

担当：職業奉仕委員会

・点 鐘 奈良会長

今週の会報担当：佐藤潤会員